

「住んでよかった、これからも住み続けたいまち」にしたい！

豊中市では現在、新千里東町のみなさんにご協力いただきながら、もっと住みやすい地域づくりのための新しい仕組みを検討しています。

「地域自治」ってなに？

近年、地域の課題やニーズは地域によって違いが出てきています。たとえば、少子高齢化率は地域によって3倍以上の差があります。これまで豊中市は、全ての地域に同じ内容で取組みや支援をしてきましたが、「それぞれの地域で今求められているもの」を一番よく知っているのは、今その地域に住んでいるみなさんです。

地域のみなさんが、今地域に必要なもの・どの課題に力を入れたいかを話しあい、さまざまな団体が協力しあって活動する(これが「地域自治」です)ことで、より「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思えるまちづくりができると思っています。

どうやって進めるの？

「地域自治」を進めるためには、地域でなければできないこと・市でなければできないことを話しあい、地域でできることは地域で取り組んでいくだけでなく、市も、これまで以上に地域に関わってそれぞれの地域の実情を知り、地域が活用しやすいように、市のこれまでのやり方を変える必要があります。そこで、今年度から、この「地域自治」の仕組みと、地域に関わり、支援していくための市の仕組みについて検討をはじめています。

これまででは…

- ・市が一部の人の意見だけを聞いて動いた(安場池の事例など)
- ・市の補助金は特定の事業にしか使えず、繰越もできない…
- ・市のいろんな部局からあれこれたくさんの依頼が来る…

地域自治が進むと…

- ・地域で話しあい、力を入れたい活動を自分たちで決められる！
- ・市は地域が決めたことを尊重し、必要な支援をする！
- ・地域でもっと使いやすい補助金になる！

新千里東町では何をやるの？

新千里東町では、自治会連絡協議会の主催で団体どうしが情報共有できる場を定期的に持ったり、合同広報誌「ひがしおか」の発行やホームページの整備など、さまざまな団体がお互いに協力・連携されています。これをさらに充実させ、一定の権限を持たせたものがまさに「地域自治」の仕組みだと考えています。

そこで、地域のみなさんにとって使いやすい仕組みを作り、市内に広めていくために、新千里東町のこれまでの連携の取組みや考え方などを参考にしたいと思い、意見交換会への参加にご協力をいただいています。

平成22年度中に検討結果をまとめた報告書を作り、それをもとに市の体制を整えて、平成23年度から市内のいくつかの地域で試験的に取組みをはじめ(モデル実施)予定です。

第1回(9月19日)は地域自治を進めるために必要な地域の組織について、第2回(11月14日)は地域と市の役割分担や市の体制についてご意見をいただきました。次回(第3回)は、これからの地域の取組みや、そのための市の支援について意見交換を行う予定です。

★ 次回(第3回)意見交換会 1月16日(土) 19:15～21:00 東町会館 2階大会議室 ★

みなさんにとってより使いやすい仕組みにするため、ぜひ協力ください！